

やさしさに感謝

H27年度 「読書週間 スペシャルイベント」特集号



読書週間とは・・・

当校では、年に2回（春・秋）本に親しみ、本の世界や魅力をたっぷり味わう読書週間を実施しています。

「図書室でのお楽しみイベント」

「親子読書のすすめ」そしてボランティアさんによる

いろいろなタイプの「読み聞かせ」など様々な工夫があつてとても楽しい

です！



民話劇を見たよ。すごい迫力だったよ。

この度の読書週間では、国語学習の関連で新美南吉の「でんでん虫の悲しみ」「きよねんの木」や斎藤隆介の「花さき山」を大型スクリーンで読み聞かせたり、英語指導助手のニール先生と秋山先生が表情豊かに「2か国語読み」をしてくださいました。

また、1・2年生は「秋葉区学校支援会」の皆さんから本格的な民話劇を見せてもらいました。これは新津東部コミュニティ協議会の協賛で支援会がシナリオから大道具まで手作りし、新津第二小学校で毎年夏休みに見せているものです。今年は新津川のサケの話なので、ぜひ当校でも見せてくださいとお願いしました。会場には笑い声が響き、教訓もあるすばらしいものでした。



秋葉区学校支援会とは



秋葉区在住の退職した教員のボランティアグループで学習からお楽しみ会まで様々なジャンルで広く支援をしています。 ●相談・お問い合わせは 木村まで●

●電話・FAX 0250-25-2661



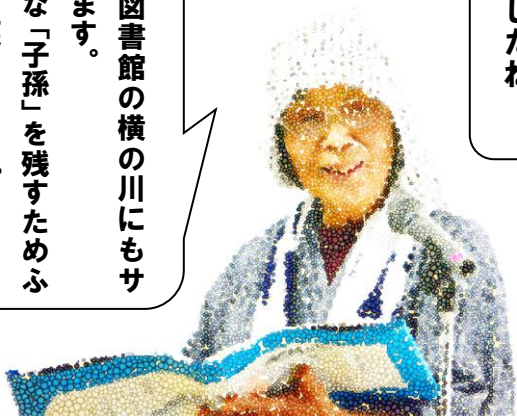
サケの大介
今、川を上るよ!



サケはおいしいね!

皆さん、聞き方が
上手でしたね。

新津図書館の横の川にもサ
ケが来ます。
大切な「子孫」を残すためふ
るさどに戻るのです。



(続き)新潟県の民話「サケの大介・小介」を新津版に編集した「よくばりはいけない」というお話を、パソコン画像をスクリーンに映した背景や、効果音の流れる中、個性豊かな役者さん(さすが、元先生方!)が凝った衣装と新潟弁で熱演してくださいました。サケのかぶり物は絵の上手な方の力作で、いきいきと泳いでいるようでした。

終了後は、児童全員が順に並んで役者さんにハイタッチをし、それぞれ感想やお礼を伝えて教室に戻りました。たくさんの笑顔と「ありがとう」が飛び交う心温まるお別れをしました。

秋葉区文化会館の館長さんや他校のコーディネーターさん、地域ボランティア常連さんも来てくださいました。最後に、支援会より「このような生の演劇を見て、素晴らしい昔話や民話への興味が広がることを願います。」と言われました。



すごーく
おもしろかった!
また見たいです。
2年 児童

春に(学習支援で)教室に来てくれた先生が劇に出ていた。「トイレの神さま」を教えてくれた先生もいてうれしかった。 1年 児童



昔お世話になった校長先生が熱演されていて驚きました。久しぶりの再会もうれしく、変らぬお元気な姿に私も元気をもらいました。ありがとうございました。 一小 教員

みんなが素直に反応して、たくさん笑ってくれました。頑張ってたよかったです。心地よい疲れです 支援会

準備やリハーサルなど色々大変でしたが、学校の協力や気配りを頂き、スムーズに気持ち良くなりました。一小さん、いい学校ですね。 支援会

ご協力いただいた皆様へ感謝します。ありがとうございました。